

佐賀県知事 様

住 所 佐賀県神埼市脊振町鹿路585番地1
団 体 名 特定非営利活動法人 森林をつくろう
代表者職・氏名 理事長 佐藤 和歌子 印

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和2年2月7日付け県協第1961号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

令和元年度寄附金活用実績報告書

事業名	「新・木造の家」設計コンペ事業運営費
寄附受入額	円
事業内容（いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載）	
<p>「新・木造の家」設計コンペ事業 2019年7月1日より全国の大学等で建築を学ぶ学生に対し、木造住宅の提案募集を開始。 ※2019年6月20日より参加登録開始 主催：特定非営利活動法人森林をつくろう 後援：林野庁・佐賀県等</p> <p>2019年9月21日 【概要】外部有識者で構成する審査委員会を開き、第一次審査を実施。応募作品の中から二次審査に参加する作品を選定 【場所】佐賀県神埼市 【出席者】外部審査委員・事務局 ※外部審査員 委員長：鈴木祥之(立命館大学教授)・五十嵐勉(佐賀大学教授)・伊東龍一(熊本大学大学院教授) 井出光俊(国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター審議役) 小山田順二(佐賀県農林水産部林業課長)・竹迫継美(西九州トステム<株>代表取締役) 前川康(NPO 法人伝統構法の会会長)・眞崎義隆(眞崎製瓦代表<薄井幸夫理事長代理>) 三島伸雄(佐賀大学大学院教授)</p> <p>2019年10月26日 【概要】佐賀市にある歴史民俗館・旧古賀家住宅にて、一次審査を通過した学生による作品の提案発表と専門家の講演会を開催 【場所】佐賀市歴史民俗館旧古賀家住宅 【参加者】外部審査委員・学生・一般市民等 ※外部審査委員（一次審査と同じ） ※参加学生所属大学:北海道大学大学院・東京工業大学大学院・九州女子大学・工学院大学大学院 千葉工業大学大学院・日本大学大学院・三重大学 【講演会】講師：白井裕子(慶應義塾大学大学院准教授)</p>	
事業実施の成果・効果（見込み）	
<p>※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。</p> <p>この事業は、木材利用を活性化することで森林保全が進み、土砂災害等の防止につながるなど、私たち県民一人一人の安心安全な暮らしと繋がっていることを理解してもらうために開催しています。そのため、作品を応募する学生には、佐賀県の森林や木材利用の状況のほか、佐賀県の住環境などについて調べることを求めています。公開形式で開催しているこの事業には、今回も佐賀県内から一般市民の皆様が多く参加をいただきました。災害が発生する度に、自然環境との関わりについて報道がなされますが、森林についても植え・育てるだけでなく、消費し循環することも、土砂災害を防止するなど、私たちの暮らしの安全につながっていることを理解してもらうことができたと考えています。</p>	

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

事業名		「新・木造の家」設計コンペ事業	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	370,500	
	国土緑化推進機構助成金	689,000	
	自己資金	453,379	
	収入 計	1,512,879	
支 出	謝金	140,000	外部有識者審査委員・講師等謝金
	旅費	540,597	審査委員・講師・学生旅費
	印刷製本費	76,895	ポスター・チラシ・冊子作成費
	消耗品費	172,073	郵送料等
	使用料・賃借料	28,050	会場・バス使用料
	賞金	450,000	
	返礼品支払い	105,264	
支出 計	1,512,879		

- 支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。
経理上の区分名で記載して構いません。
- 領収書等は事業終了後5年間保存してください。